

科目名	哲学概論	
担当者	村若 修 / MURAWAKA, Osamu	
科目情報	法律<関連> / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	本講義では、古代から近代に至る西洋の哲学史を概観する。自ら「哲学する」ことは、ともすれば独りよがりになるものである。哲学史を学び、適切なテーマと適切な考え方を先人から学ぶことで、哲学の全体像をつかんでもらいたい。
	到達目標	西洋哲学の歴史について一定の知識をもつ。 哲学の基本的問題を理解する。 哲学のテキストを理解し、その筋道を追体験できる。
授業計画	(1) 哲学するための哲学史 (2) 古代ギリシアの自然哲学 (3) ソクラテス (4) プラトン (5) アリストテレス (6) ストア派とエピクロス (7) デカルト (8) スピノザ (9) ロック (10) バークリ (11) ヒューム (12) カント (13) 現代の哲学（1） (14) 現代の哲学（2） (15) まとめ	
自学自習	事前学習	・テキストの該当箇所を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・2～3回おきに小テストを行う。
使用教材・参考文献	【教】ヨースタイン・ゴルデル『ソフィーの世界』NHK出版1997 (ISBN4-14-08331-2 C0097) 【参】岩田靖夫『ヨーロッパ思想入門』岩波ジュニア新書2003 (ISBN4-00-500441-5) 【参】岩田靖夫『いま哲学とはなにか』岩波新書2008 (ISBN978-4-00-431137-9)	
成績評価方法と基準	<基準>講義内容の理解が不十分な場合、不合格となることがあります。 <方法>期末試験による。	
備考		